

「いつまでもわが家で暮らしたいをささえる」 ～支える人@有料老人ホーム



◆プロフィール◆

坂本 富子
有料老人ホーム ぶらっと不知火弐号館
施設長/介護福祉士
今願う事：コロナの終息 孫の高校合格

「いつまでも 我が家で暮らしたいをささえる」がテーマですが、その生活が困難になられた方の第2の居住の場になるのが有料老人ホームなどの施設だと思えます。

入居当初は「家に帰りたい」と
落ち着かれない方もいらっしゃいます。涙を流される方もいらっしゃいます。我が家が一番なのは当然です。最期は我が家で迎えたいと思われるのも当然です。ただ、ご家族様の心配、介護の負担などを考えると、なかなかそうはいかない現実もあります。

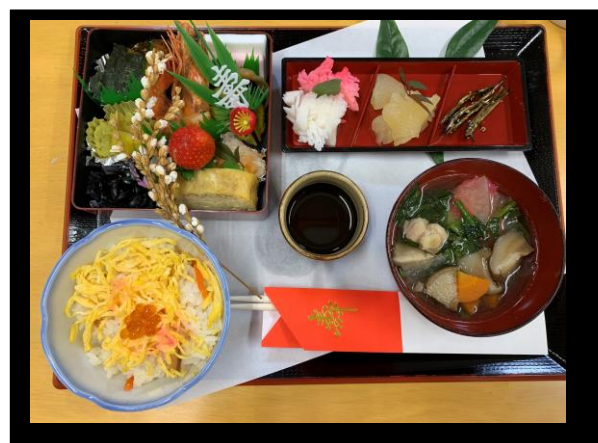
施設入居に際しては、ご家族様が罪悪感を感じている事もあります。それらを含め、施設の職員として入居者様、ご家族様に寄り添い、信頼していただけるよう日々努力しています。3食きちんとご飯を食べ、薬を服用し、誰かの見守りのもと安全に安心して生活していただけたらと思っています。

時には最期を施設でお看取りをさせていただく事もあります。
ご家族様から

「ぶらっとさんがよければ最期までここでお願いします」と
言われ引き受けました。医療、訪問入浴、訪問介護などの力を借り
ながら4か月後ぶらっとの自分の布団の中で眠るように逝かれまし
た。私達は声掛けや見守る事しかできませんでしたが、ご家族様か
らは

「本人にとってはこれが一番良かった。なじみの皆さんに見守られ
ながら最期を迎える事ができた。ありがとうございました。」と
言葉をいただきました。

これからも入居者様に寄り添い、医療をはじめ、他の事業所との
連携をとりながら何がその人にとって一番いい事なのかを考えなが
ら支援していけたらと思っています。



季節に合わせた行事も取り入れ、自分の家で過ごしているような雰囲気作りに
りつとめています。年末は皆で餅つきをしました。
お正月はお雑煮とおせち料理でお祝いしました。